

令和元年度第1回八幡平市環境審議会 会議録

日 時	令和元年 10 月 28 日 (月) 10:00 から 12:00
場 所	八幡平市役所 大会議室
内 容	<p>(委嘱状交付)</p> <p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事 (1)環境基本計画年次報告(平成30年度実施状況)について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
出席者	<p>【委員 14 名】</p> <p>竹原明秀委員、沖野智章委員、遠藤忠志委員、千田康洋委員、高橋正志委員 高橋富一委員、田中耕一委員、片野正子委員、畑山勝美委員、大森貞子委員 佐藤真澄委員、生原修委員、畠沢重年委員、伊藤清代美(代理刈谷友行)委員</p> <p>【事務局等】</p> <p>田村市長、津志田総務課長、佐々木企画財政課長、渡辺地域振興課長 松村地域福祉課長、田村農林課長、遠藤商工観光課長、関本建設課長 菅原上下水道課長、森西根総合支所長、遠藤農業委員会事務局長、 工藤教育総務課長</p> <p>(事務局：市民課) 小笠原市民課長、多田課長補佐、工藤環境企画係長、土村主任</p>
議 事	(1) 八幡平市環境基本計画(平成30年度実施状況)について

会議録	
	1 開会
副市長	2 市長あいさつ
会長	3 会長あいさつ
	4 議事 (1) 環境基本計画年次報告(平成30年度実施状況)について
(1) 環境基本計画年次報告(平成30年度実施状況)について	
事務局	基本目標1について説明。
	質疑応答(基本目標1について)
委員	<p>2点あります。</p> <p>1点目は、10ページのホームページというところをHPと記載されている。</p> <p>2点目は、1-1-7の最終年度目標値を0としないほうが良いと思います。なぜかといいますと、目標を0とするのはこの項目はいらぬということになります。できないのであればできないこととしてCの評価をするべきだ。可能性を残している</p>

	<p>のだからCになることを心配しないで、1 ha を削除しないほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>1 点目については、訂正します。</p> <p>2 点目については、新たな県事業を創設するための要望活動を行うという新しい目標を定め、現在の目標を0 という形を取りたいと考えておりましたが、委員指摘のとおり0 というだけでなく、1 ha の目標を維持したまま、要望活動を行うという目標を追加したいと思います。</p>
委員	<p>12 ページの猟友会のことですが、計画に対することではなくて、何らかの形で解決していければいいと考えていますが、猟友会自体が高齢化している。猟友会の活動が進まなくなると農作物の被害が出てきます。人材確保が必要で、何とかしないと周りの人がいなくなる。これについては、テーマが大きいです。ぜひ何らかの検討をして若返りを図っていかないと、鳥獣駆除の役割を果たせなくなる可能性がある。</p>
会長	<p>ごもっともな意見です。その問題については、ここは別の所で何とか進めていただければと思います。</p>
事務局	<p>委員ご指摘のとおり高齢化によってやめていく人は毎年います。市のほうでも3年前から新規に鉄砲や罠の免許を取る方に対して補助を出していて若干ですけども増えているのですが、やめていく人と増えていく人で若干マイナスとなっている状況です。農作物被害の対策については、電牧柵に対する補助などをピーアールしてできるだけ被害についてないようにしていきたい。</p>
市長	<p>鉄砲の管理については、厳しくなってきたので、罠のほうを積極的に進めていきたい。サギについては、有害駆除できないのでしょうか。</p>
事務局	<p>サギについては、基本は捕獲することができないこととなっています。ただ、各自自治体で鳥獣被害防止計画の中でサギ類を捕獲できる旨記載があれば捕獲できることとなっております。市では、サギを被害防止計画の中に位置付けておりますのでサギを捕獲することができます。今年度も実績は若干あるとのこと。</p>
委員	<p>猟友会が一番多いときで何人ほどいたんですか？</p>
事務局	<p>手元に記録はないのですが、おそらく昭和60年頃で市内合わせると150人位はいました。西根だけで70～80人いました。</p>
事務局	<p>基本目標2について説明。</p>
	<p>質疑応答（基本目標2について）</p>
委員	<p>16 ページにある、2-1-3の所も当初の目標件数が0件ということは納得できない。例えば災害などの場合は0件となるような目標を立てるのはわかるが、何かを達成しようとしているときに0件にするというのは。必要に応じて個別指導をしたのでしょうから1件と書けばいいじゃないですか。</p> <p>次に、20ページのIPMという標記があるが意味が解らない。標記の仕方を工夫してほしい。</p> <p>もうひとつは、不法投棄パトロールについてカメラで車のナンバーを追ってほしい。車のナンバーを警察に通報してほしい。</p>

事務局	<p>16 ページの2-1-3の目標については、そもそも発生しないことが目標ですので0ということになっています。発生した場合には個別に対応することとなっています。</p> <p>20 ページのIPM及びGAPについては、まさにご指摘のとおりでございますので表記を統一してまいります。</p> <p>温泉郷のゴミの集積所は他の集積所と比べると大きい集積所となっております。今は外にカメラを設置しております。しかし、車の止め方によってはうまくナンバーが映らないケースがあるのでカメラの設置場所を変えようと思っています。ただ実際にカメラの映像を張り出したことによりごみが無くなったということもあります。全く効果が0ということではありません。昨年度はナンバーが映っている車があり1件警察から指導されております。</p>
会長	<p>18 ページの2-2-1について達成度評価はBなのですが、昨年度より下がっていますよね。下がっているのはいかがなものかと思いますが。</p>
事務局	<p>整備率なんですけれども、人口ベースで計算することとなっております。下水道計画の当初計画から数年おきに人口を見直しながら進めているところですが、計画の見直しの段階で人口を精査したところ微妙に下がったということになっております。おおむね80%の整備率となっており、数字としては下がっていますが実態としては横ばい、整備しているところもありますので、整備自体は進んでおりますが、県への報告している数字ですのでそのとおり表記しました。</p>
会長	<p>最終年度目標毎年1%ずつ増やすという、目標ですから果たして86%まで行くかという不安はあります。</p>
事務局	<p>国・県の補助事業ですので補助金の交付の割合にも左右されますが、毎年要望をしながら補助金確保を進め、整備してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>不法投棄パトロールの現状をお話したい。昔みたいにテレビとか冷蔵庫とか大型家電が捨てられているということはない状況です。回数について60回以上の目標となっていますが回数が多ければいいというのではないのでこの辺は検討していかなければならないと思います。不法投棄は個人で、マナーの悪い個人が問題。道路のゴミ捨てについては全然改まらない状況です。ゴミステーションにもきちんと分別している人はいいのですが日にちを守らない、分別されていないごみを捨てられているケースについて悩みが多いということが現状です。</p>
事務局	<p>我々も同じ認識をもっており、ごみの出し方等についても特に頻繁に発生した地区についてはその都度チラシなどを配布しております。</p> <p>回数について60回が実態に即しているのか、実態に即した数値目標を立てていければと考えております。</p>
会長	<p>2-4-1の達成度評価がAからBに下がってしまったのが問題であって、評価は下がらないように進めていただきたい。</p>
事務局	<p>基本目標3について説明。</p>

	質疑応答（基本目標3について）
事務局	3-2-3の目標につきましては、目標基数は3基のままでお願いします。
委員	3-3-1について、岩手山噴火に備えた火山防災学習で、岩手大学の土井先生を招いて学習会を行いました。土井先生が言うには、縄文時代前期に岩手山の山頂が爆発して山体崩壊をおこし大量の火山灰・火山礫が押し流されてできた流れ山というのが西根地区にあります。ただ、最近では都市開発等で破壊が進んでいる状況です。将来の子供たちに残してほしいのですが、現在の流れ山の破壊の状況はどういう状況でしょうか。
事務局	おそらく、五百森と呼んでいる森が点在して残っているものと思いますが、数字までは把握しておりません。
会長	文化財の関係で取り上げてもらうことがよろしいかと思います。 あと、防災について堤防を作っている対策があると思いますが何か所ぐらい行っていますか？
委員	国と県で火山砂防事業を行っておりますが、県では6箇所、国ではその倍ほどをやっている状況です。
会長	刈払いの所で委託が減っているが直営は別にあるということとなっている。表の中に書いたほうが良いのではないのでしょうか。また、今後直営の刈払いについて検討すると書かれていますが、すでに行っているのであれば行っていると書かれるべきではないのでしょうか。
事務局	これは、高齢者が増えてきて実際地元で刈払いができないという意見が出てきたときに直営で刈払いをします。今までは地元で刈払いを行ってきたところを直営で刈払いをするということを検討するというございます。
委員	3-2-1の取組と実績で実績があるのでAではないのですか。
事務局	風力発電や太陽光発電など事業者が届け出を出すことにより数字が上がってくるもので、その時次第ということがあり、市のほうで何か働きかけということではなかったのが評価という形はとりませんでした。
委員	3-3-3で日本版DMOという表記がありますがこれはどういう意味ですか。意味について下のほうに書いていただければと思います。コンテンツという言葉も出てきますが日本語表記で済むのなら日本語表記でお願いしたい。
事務局	必要に応じて注釈等つけてまいりたいと思います。
会長	次回以降指標についても、進捗状況に書いてあるもの以外でも色々ありますよね。具体的には八幡平市を訪れた観光客は何人かとか、宿泊施設に何泊したかという直接的な数字が良いと思います。
事務局	観光客については伸びている状況です。宿泊数も増えている。インバウンドで外国人も増えている。指標にある鹿角街道などの個別に関しての分析はできませんが八幡平ドラゴンアイという八幡平頂上付近の沼が有名になり山頂レストハウスの利用者数も増えております。

	また、来年度以降、観光客数について表の下に記載したいと考えております。
会長	記載については、今後考えて頂きたいですが、環境の面からすると観光客がたくさん来ることによって環境問題が起こるのでバランスを取る意味でも、コンテンツということではお祭りなどの情報発信を充実させていければいいですね。
	基本目標 4 について説明。
	質疑応答（基本目標 4 について）
委員	市に対する依頼ですが、先日大人の地熱発電探検隊というのがありまして、あれは非常に良いですね。ぜひ継続してほしい。
事務局	地熱理解促進事業の一環として 10 月 8 日に開催しました。地熱理解促進事業については、以前から色々取組を行って行いましたが、この大人の地熱探検隊については本年度初めて行いました。来年度につきましても本年度の内容を振り返りながらまた新たなものも実施してまいりたいと思いますが、ただ、これは国の補助事業で行っておりますので国と内容を詰めていきたいと思っています。
委員	4-2-1 で補助事業に関する状況と書いていますが、補助を使わないで個人で実施した面積については把握しておりますか？ 県の補助事業の間伐について基準が高いためと書いてありますが、具体的にどのようなことなのか教えていただきたい。 4-3-1 の一番下に書いていますが新電力会社からの電力供給に対する住民の理解とありますがこれは、具体的にはどのようなことかお願いします。
事務局	補助を使わないものの面積については、把握しておりません。ただ、個人で行うにしても当然伐採届が必要なので伐採終了後、補助を入れて造林するか自然での更新となるか、これの積み上げであると思います。 補助事業採択基準が高かったというのは、市の上乗せ補助の話かと思われます。 地熱発電で発電した電気を市民の方々に売電していきたいと考えてございますが、新電力会社、いわゆる売電会社が現在地熱発電を売電する取組みについては、公共施設や大きな企業については、売電を行っておりますが、これを一般市民向けの売電ということでは住民が購入するという意味で電力量の需要の確保が難しい状況で企業のほうもそこまでは、手が出せていない状況です。住民に地熱発電を利用させていただくという理解促進しながら、地熱発電を市内の一般家庭にも売電していきたいということからこのような記載にさせていただいております。
会長	新電力会社は、あるのですか。地熱発電の会社があるのですか。
事務局	今年の 1 月に開始いたしました松尾八幡平地熱発電所グループの売電会社がございます。そこを通じて売電を行っているところですが、現在は大口のみの売電となっているところを一般家庭にも広げていきたいということでございます。
委員	最初の質問ですが、大きな目標の森林保全（2）というのは、施策の方向としては補助事業でもいいのですが、補助事業だけでなく一般の分がどれぐらい進んでいるかが一つの指標となる。補助事業であれば指標としては分かりやすいのですが、全体的

	な森林保全ということからは、一般の分を合わせてどれぐらい進んでいるのか、どのように進めていくのが一番大きな指標と思います。
会長	森林環境税が本年度から入ってくるのでしょうか。内容的にも今後大きくかわりますよね。
事務局	植林の経費は結構高いです。今は、戦後植林したものが伐期を迎えてあちこちで切っている状況で、植林については、補助を使わない人はいないと思われる。伐採した面積から再造林した面積を除いたものが天然更新と思われる。
委員	森林保全に対する、環境基本計画の中での位置づけというのは、森林を保全して整備する。補助事業が何件というのは狭い範囲なので、広い範囲での指標が必要ではないかということ。また、これから森林環境税も導入されますので、その中で、森林保全の環境保全に関する位置づけも変わらざるを得ないと思います。今作っている計画は、このまま進んでいくでしょうけども、この計画を改定するときにはそこら辺の所も考えて頂ければなと思います。
事務局	そのように考えて、次回は指標について考えていきたいと思います。
委員	35 ページの風力発電のことについて、4箇所環境調査をされたとのことでしたが、竜ヶ森の交差点から安代に向かって降りていくところで左側に風車が1基回っている。あの風車はこの計画に載っていないと思うのですが。
事務局	風力発電については、手続きの流れの中で市の許可といったところがございませぬので、1基だけですと市に届出なしに設置も可能となっております。ですので今後市としてガイドライン等を定めなければならないということをお話ししております。
委員	今朝見てきたのは個人で許可を得て行っているのですね。
事務局	個人かどうかは分かりませんが、発電量が大きくないものととらえております。
委員	今後、あちこちにあのようなものができてくるのであれば何か考えてほしいと思います。
会長	難しいですね。太陽光パネルを含めてあちこちで問題となっております。事前に何とか対応できればと思います。
委員	森の面積についておしえてほしいのですが。八幡平市の森は増えているのですか減っているのですか。
委員	日本全体として森の面積は若干微増です。木材の蓄積量についても増えております。八幡平市の半分以上が国有林ですけども。蓄積量は増えておりますので増えた分の利用が大事で、また、間伐をして手入れをすることが大事だと考えております。
委員	活用方法が課題なんですね。ありがとうございます。
	基本目標5について説明。
	質疑応答（基本目標5について）特になし。
	閉会